

人権コラム 心、豊かに

◆ L G B Tだけじゃない？～多様な性～

「L G B T」という言葉を耳にする機会が増えてきたのではないのでしょうか。L G B Tは女性同性愛者の「レズビアン（L）」、男性同性愛者の「ゲイ（G）」、両性愛者の「バイセクシャル（B）」、身体と心の性別に違和感がある人を指す「トランスジェンダー（T）」の頭文字をとった呼び方ですが、これ以外にも多様な性的指向（どのような性別の人を好きになるか）や性自認（自分の性をどのように認識しているか）があります。

例えば恋愛感情を持たない「アセクシャル」や自分の性が定まっていない、または意図的に決めていない状態の「クエスチョニング」などのように、近年では様々な性に関する考え方も世間に知られるようになってきました。

このため、L G B Tのように個人を属性に当てはめるのではなく、全ての人が持つものであるとして「Sexual Orientation」（性的指向）と「Gender Identity」（性自認）の略称である「S O G I（ソジ又はソギ）」という呼び方が国連等を中心に使われるようになってきました。

このように社会全体には多様な性に対する理解が少しずつ広まっていますが、一方で周囲の理解が得られず、未だ苦しんでいる人がいることも事実です。同性愛等に理解を持たないアパート等の大家や不動産業者から賃貸契約を断られるなどのように周囲の無理解や偏見からくる言動によって傷付いたり、不利益を受けてしまったりする「S O G Iハラスメント」という問題も出てきているのです。

人権を取り巻く社会が多様化していく中で、何かの枠組みに無理やり当てはめる必要はありません。誰もが自分らしく生きられるとともに互いを認め合う社会の実現には、一人ひとりに個性があり、それぞれが違うことを当たり前であると理解し、広げていくことが重要なのです。